

箴言

- ¹ ダビデの子で、イスラエルの王ソロモンの箴言。
- ² 知恵と教訓を知り、
悟りの言葉を見分けるため。
- ³ 賢く行動するための教訓を受け、
義と公正と公平を身につけるため。
- ⁴ 浅はかな者に思慮を与え、
若者に知識と慎重さを与えるため。
- ⁵ 知恵のある者がこれを聞いて学びを増し、
悟りのある者が確かな助言を得るため。
- ⁶ 箴言とたとえ、
知恵のある者の言葉と謎を理解するため。
- ⁷ 主*を恐れることは知識の初めである。
しかし、愚かな者は知恵と教訓を侮る。
- ⁸ わが子よ、父の教訓を聞き、
母の教えを捨ててはならない。
- ⁹ それらはあなたの頭を飾る優美な花輪となり、
首を飾る鎖となる。
- ¹⁰ わが子よ、罪人たちがあなたを誘っても、
同意してはならない。
- ¹¹ 彼らがこう言っても、「われわれと一緒に来い。
血を流すために待ち伏せしよう。
罪のない者を、理由もなくひそかに狙おう。
- ¹² よみ†のように、彼らを生きたままのみ込もう。

* **1:7 1:7** 「主」は、神の固有名であるヘブライ語יהוה」」（一般にヤハウエと発音される）

† **1:12 1:12** よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 穴に下る者のように、彼らを丸ごとのみ込もう。
- 13 あらゆる貴重な財宝を見つけ、
略奪品で家々を満たそう。
- 14 おまえもわれわれと一緒にくじを引け。
財布は皆で一つにしよう」
- 15 わが子よ、彼らと同じ道を歩んではならない。
彼らの道に足を踏み入れてはならない。
- 16 彼らの足は悪へと走り、
血を流すことへと急ぐ。
- 17 どんな鳥の目の前で網を張っても、むだである。
- 18 しかし彼らは、自分の血を流すために待ち伏せし、
自分の命を狙ってひそむ。
- 19 利益をむさぼる者は皆、このような道をたどる。
その利益は、持ち主の命を奪う。
- 20 知恵は通りで声高く呼び、
広場で声を上げる。
- 21 人の行き交う通りのかどで呼びかけ、
町の門の入り口でこう語る。
- 22 「浅はかな者たちよ、いつまで浅はかさを愛する
のか。
あざける者たちは、いつまであざけりを喜び、
愚かな者たちは知識を憎むのか。
- 23 私の叱責を受けて立ち返れ。
見よ、^私私はあなたがたに私の霊を注ぐ。
私の言葉をあなたがたに知らせよう。
- 24 私が呼びかけても、あなたがたは拒み、
手を伸ばしても、誰も注意を払わなかった。
- 25 あなたがたは私の助言をすべて無視し、

※ 1:23 1:23 「見よ」は注意を促す間投詞で、「よく見よ」「心に留めよ」という意味を

- 私の叱責を少しも受け入れようとしなかった。
26 だから私も、あなたがたの災難を笑い、
災いが襲うとき、あざ笑う。
27 災いが嵐のように襲い、
災難がつむじ風のように来て、
苦難と苦悩があなたがたに臨むとき。
28 そのとき彼らは私を呼ぶが、私は答えない。
熱心に私を捜すが、見つけれられない。
29 彼らは知識を憎み、
主を恐れることを選ばなかった。
30 彼らは私の助言を望まず、
私の叱責をことごとく侮った。
31 それゆえ彼らは自分の道の実を食べ、
自分の企みに飽きるほど満たされる。
32 浅はかな者の背きは彼らを殺し、
愚かな者の安逸は彼らを滅ぼす。
33 しかし、私に聞き従う者は安全に住み、
災いを恐れず、安らかに暮らす。」

2

- 1 わが子よ、もし私の言葉を受け入れ、
私の命令を心のうちに蓄え、
2 知恵に耳を傾け、
悟りに心に向けるなら、
3 そうだ、識別力を求めて呼び、
悟りを求めて声を上げ、
4 銀のように知恵を求め、
隠された宝のように探すなら、
5 そのとき、あなたは主を恐れることを悟り、
神を知るに至る。^{*}
6 主が知恵を与える。

^{*} 2:52:5 「神」と訳されたヘブライ語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

- その口から知識と悟りが出る。
- 7 主は正しい者のために確かな知恵を蓄え、
誠実に歩む者の盾となる。
- 8 公正の道を守り、
ご自分に忠実な者たちの道を保たれる。
- 9 そのとき、あなたは義と公正、
公平とあらゆる良い道を悟る。
- 10 知恵があなたの心に入り、
知識はあなたに喜びとなる。
- 11 慎重さがあなたを見守り、
悟りがあなたを守る。
- 12 それらはあなたを悪の道から、
曲がったことを語る人々から救い出す。
- 13 彼らは正しい道を捨て、
闇の道を歩む。
- 14 悪を行うことを喜び、
悪のよこしまさを楽しむ。
- 15 彼らの道は曲がっており、
その歩みは正道からそれている。
- 16 また知恵は、あなたをよその女から、
甘い言葉でへつらう見知らぬ女から救い出す。
- 17 彼女は若いころからの夫を捨て、
自分の神との契約を忘れている。
- 18 彼女の家は死へと下り、
その道は死者の霊へと至る。
- 19 彼女のもとへ行く者は誰も戻らず、
命の道にたどり着くこともない。
- 20 それゆえ、善良な者たちの道を歩み、
義人たちの道を守れ。
- 21 正しい者はその地に住み、
潔白な者はそこにとどまる。
- 22 しかし、悪しき者はその地から断ち切られ、
裏切る者はそこから根こそぎにされる。

3

- 1 わが子よ、私の教えを忘れてはならない。
あなたの心で私の命令を守れ。
- 2 それらはあなたの日々を長くし、
命の年と平安を増し加える。
- 3 慈しみと真実をあなたから離すな。
それらを首に結び、
心の板に書き記せ。
- 4 そうすれば、神と人の目に、
好意と良い評判を得る。
- 5 心を尽くして主に信頼し、
自分の悟りに頼ってはならない。
- 6 あなたのすべての道で主を認めよ。
そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにする。
- 7 自分を知恵のある者と思ってはならない。
主を恐れ、悪から離れよ。
- 8 それはあなたの体の健康となり、
骨を潤すものとなる。
- 9 あなたの財産と、
すべての収穫の初物をもって主をあがめよ。
- 10 そうすれば、あなたの倉は豊かに満たされ、
搾り場は新しいぶどう酒であふれる。
- 11 わが子よ、主の訓練を侮ってはならない。
その叱責を嫌ってはならない。
- 12 主は愛する者を正す。
父が喜びとする息子を叱るように。
- 13 知恵を見いだす人は幸いである。
悟りを得る人も幸いである。
- 14 知恵から得る利益は銀を得ることにまさり、
その収益は純金にまさる。
- 15 知恵はルビーよりも貴い。

- あなたが望むものは何一つ、知恵と比べることができない。
- 16 その右の手には長い命があり、
左の手には富と誉れがある。
- 17 その道は喜びに満ちた道であり、
その通り道はすべて平安である。
- 18 知恵は、それをつかむ者にとって命の木である。
それをしっかり保つ者は皆、幸いである。
- 19 主は知恵によって地の基を据え、
悟りによって天を堅く立てられた。
- 20 その知識によって深淵は裂け、
空は露を滴らせる。
- 21 わが子よ、確かな知恵と思慮を目から離さず、
それらを守れ。
- 22 それらはあなたに命を与え、
あなたの首を飾る優美さとなる。
- 23 そのとき、あなたは自分の道を安全に歩み、
あなたの足はつまずかない。
- 24 横になるときも、恐れることはない。
横になれば、あなたの眠りは心地よい。
- 25 突然の恐怖におびえてはならない。
悪しき者に滅びが襲うときも、恐れてはならない。
- 26 主があなたの拠り所となり、
あなたの足をわなから守る。
- 27 善を施すべき相手に、
それを行う力があなたにあるなら、惜しんではならない。
- 28 手元にあるのに、隣人に、
「行って、また来なさい。
明日あげよう」と言ってはならない。
- 29 あなたの隣人が安心してそばに住んでいるのに、
その人に対して悪を企ててはならない。

- 30 あなたに何の害も加えていない人と、
理由もなく争ってはならない。
- 31 暴力を振るう者をうらやんではない。
その道の一つも選んではない。
- 32 主はよこしまな者を忌み嫌うが、
正しい者とは親しく交わる。
- 33 主の呪いは悪しき者の家にあるが、
主は義人の住まいを祝福する。
- 34 主はあざける者をあざけり、
へりくだる者に恵みを与える。
- 35 知恵のある者は栄光を受け継ぐが、
愚かな者を待つのは恥である。

4

- 1 子どもたちよ、父の教訓を聞け。
注意を払い、悟りを得よ。
- 2 私はあなたがたに確かな教えを与える。
私の教えを捨ててはならない。
- 3 私も父にとって息子であり、
まだ幼く、母の目にはかけがえのないひとり子だった。
- 4 父は私を教えて、こう言った。
「私の言葉を心にしっかり保て。
私の命令を守って生きよ。」
- 5 知恵を得よ。
悟りを得よ。
忘れてはならない。私の口の言葉からそれでは
ならない。
- 6 知恵を捨てるな。知恵はあなたを守る。
知恵を愛せよ。知恵はあなたを保つ。
- 7 知恵こそ第一。
知恵を得よ。

- あなたの持ち物をすべて費やしても、悟りを得よ。
- 8 知恵を尊べ。そうすれば、知恵はあなたを高く上げる。
知恵を抱きしめれば、あなたに誉れを与える。
- 9 知恵はあなたの頭に優美な花輪を置き、輝かしい冠をあなたに授ける。」
- 10 わが子よ、聞いて、私の言葉を受け入れよ。
そうすれば、あなたの命の年は多くなる。
- 11 私はあなたに知恵の道を教え、まっすぐな道へ導いた。
- 12 歩くとき、あなたの歩みは妨げられず、走るときも、つまずかない。
- 13 教訓をしっかりつかめ。
それを手放してはならない。
それを守れ。それこそあなたの命。
- 14 悪しき者の道に入ってはならない。
悪を行う者たちの道を歩んではならない。
- 15 その道を避け、そばを通ってはならない。
そこから離れ、通り過ぎよ。
- 16 彼らは悪を行わなければ眠らず、誰かを倒さなければ眠ることができない。
- 17 彼らは悪のパンを食べ、暴力のぶどう酒を飲む。
- 18 しかし、義人の道は夜明けの光のようだ。
昼の盛りに至るまで、ますます明るく輝く。
- 19 悪しき者の道は暗闇のようだ。
彼らは何につまずいているのか分からない。
- 20 わが子よ、私の言葉に注意を払え。
私の語ることに耳を傾けよ。
- 21 それらを目から離してはならない。

- 心の奥に保て。
- 22 それらは、見いだす者には命となり、
その全身に癒やしとなる。
- 23 何にもまして、あなたの心を守れ。
命の泉はそこから湧き出る。
- 24 曲がった口を自分から取り除き、
よこしまな唇を遠ざけよ。
- 25 あなたの目はまっすぐ前を見、
そのまなざしを正面に向けよ。
- 26 あなたの足の道を平らにし、
すべての道を確かなものとせよ。
- 27 右にも左にもそれてはならない。
あなたの足を悪から遠ざけよ。

5

- 1 わが子よ、私の知恵に注意を払え。
私の悟りに耳を傾けよ。
- 2 そうすれば、あなたは慎重さを保ち、
あなたの唇は知識を守るようになる。
- 3 姦淫する女の唇は蜜を滴らせ、
その口は油よりも滑らかだ。
- 4 しかし、その結末は苦よもぎのように苦く、
両刃の剣のように鋭い。
- 5 その足は死へ下り、
その歩みはまっすぐよみ*へ向かう。
- 6 彼女は命の道を考えようとしない。
その道は曲がりくねっているが、彼女はそれ
に気づかない。
- 7 それゆえ今、わが子らよ、私に聞け。
私の口の言葉から離れてはならない。
- 8 あなたの道を彼女から遠ざけよ。

* 5:5 5:5 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- その家の戸口に近づいてはならない。
9 さもないと、あなたの誉れを他人に渡し、
あなたの年月を残酷な者に渡す。
10 見知らぬ者たちがあなたの力で満ち足り、
あなたの労苦は他人の家へ渡る。
11 そして最後には、あなたはうめく。
あなたの肉も身も衰え果てるとき。
12 そのとき、あなたは言う。
「ああ、私は教訓を憎み、
私の心は叱責を侮った。
13 私は教師たちの声に従わず、
私を教える者たちに耳を傾けなかった。
14 私は集まった会衆のただ中で、
完全な破滅の瀬戸際にまで来てしまった。」
- 15 自分の水ためから水を飲み、
自分の井戸から流れる水を飲め。
16 あなたの泉を通りにあふれさせてよいのか。
水の流れを広場に流してよいのか。
17 それらはあなただけのものとし、
見知らぬ者と分け合ってはならない。
18 あなたの泉が祝福されるように。
若いころからの妻を喜べ。
19 愛らしい雌鹿、優美なかもしかのような妻に、
その乳房でいつも満ち足り、
その愛に絶えず心を奪われよ。
20 わが子よ、なぜ姦淫する女に心を奪われるのか。
なぜよその女の胸を抱くのか。
21 人の道は主の目の前にあり、
主はそのすべての歩みを調べる。
22 悪しき者は自分の悪い行いに捕らえられ、
自分の罪の縄に固く縛られる。
23 彼は教訓を欠いて死に、

あまりの愚かさに迷い出る。

6

- 1 わが子よ、もしあなたが隣人の保証人となり、
見知らぬ人のために手を打って誓約したなら、
- 2 あなたは自分の口の言葉によってわなにかかり、
自分の口の言葉によって捕らえられている。
- 3 わが子よ、今すぐこうして自分を救い出せ。
あなたは隣人の手中に入ったのだから。
行って、身を低くせよ。
隣人に懇願せよ。
- 4 あなたの目を眠らせず、
まぶたをまどろませてはならない。
- 5 猟師の手から逃れるかもしかのように、
鳥を捕る者のわなから逃れる鳥のように、自
分を救い出せ。
- 6 怠け者よ、蟻のところへ行け。
その生き方をよく見て、知恵を得よ。
- 7 蟻には指導者も監督者も支配者もないのに、
- 8 夏の間に食べ物を備え、
刈り入れの時に食料を集める。
- 9 怠け者よ、いつまで眠っているのか。
いつになったら眠りから起きるのか。
- 10 しばらく眠り、しばらくまどろみ、
しばらく手を組んで休んでいると、
- 11 貧しさが強盗のようにやって来て、
欠乏が武装した者のように襲って来る。
- 12 無価値な者、不法を行う者は、
ねじれた言葉を口にして歩き回る。
- 13 目で合図し、足で知らせ、
指で示す。
- 14 その心にはよこしまな思いがあり、

- 絶えず悪を企み、
いつも争いを引き起こす。
- 15 それゆえ、災難が突然その人に臨む。
たちまち打ち砕かれ、癒やされることはない。
- 16 主が憎むものは六つ、
いや、忌み嫌うものは七つある。
- 17 高慢な目、偽りを語る舌、
罪のない者の血を流す手、
- 18 悪い企みをめぐらす心、
悪事へと素早く走る足、
- 19 偽りを語る偽証人、
そして兄弟の間に争いを引き起こす者である。
- 20 わが子よ、父の命令を守り、
母の教えを捨ててはならない。
- 21 それらをいつも心に結び、
首に巻きつけよ。
- 22 あなたが歩くとき、それはあなたを導き、
眠るとき、あなたを見守り、
目を覚ますとき、あなたに語りかける。
- 23 命令はともしびであり、
律法は光である。
教訓による叱責は命の道であり、
- 24 あなたを不道德な女から、
道を踏み外した妻の舌のへつらいから守る。
- 25 心の中でその美しさを欲してはならない。
そのまぶたに心を奪われてはならない。
- 26 遊女のために、人は一切れのパンにまで落ちぶれる。
姦淫する女は、尊い命を狙う。
- 27 人は火を懐にかき入れて、
衣服を焼かれずにいられるだろうか。

- 28 また、熱い炭火の上を歩いて、
足を焼かれずにいられるだろうか。
29 隣人の妻のもとへ入る者も同じである。
彼女に触れる者は誰も罰を免れない。
30 人々は、飢えを満たすために盗む泥棒を
軽蔑しない。
31 しかし、見つければ七倍にして償い、
自分の家の全財産を渡さなければならない。
32 女と姦淫する者には悟りがない。
それを行う者は自分自身を滅ぼす。
33 その人は傷と不名誉を受け、
その恥は消し去られない。
34 嫉妬は夫の激しい怒りをかき立て、
夫は復讐の日に容赦しない。
35 どのような贖いにも心を動かされず、
多くの贈り物を差し出しても、納得しない。

7

- 1 わが子よ、私の言葉を守り、
私の命令を心のうちに蓄えよ。
2 私の命令を守って生きよ。
私の教えを瞳のように守れ。
3 それらを指に結び、
心の板に書き記せ。
4 知恵に「あなたは私の姉妹だ」と言い、
悟りを自分の親族と呼べ。
5 そうすれば、それらはあなたをよその女から、
甘い言葉でへつらう見知らぬ女から守る。
6 私は自分の家の窓辺で、
格子越しに外を眺めていた。
7 浅はかな者たちの中に、
悟りのない一人の若者がいるのを見た。
8 彼はその女の家の角の近くを通り、

- 彼女の家へ向かう道を歩いていた。
- 9 それは夕暮れ、日が沈み、
夜が更けて深い闇に包まれたころだった。
- 10 見よ、そこへ遊女の服を着て、
心にたくらみを秘めた女が彼を迎えに来た。
- 11 彼女は騒がしく、反抗的で、
その足は家にとどまらない。
- 12 今は通りに、次には広場に出て、
あらゆる角で待ち伏せする。
- 13 彼女は彼を捕らえて口づけし、
厚かましい顔でこう言った。
- 14 「私には平和のささげ物がある。
今日、私は誓願を果たした。
- 15 それで、あなたを迎えに出て来た。
あなたの顔を熱心に捜し求めて、
ついに見つけた。
- 16 私は寝床に美しい敷物を広げ、
エジプトの糸で織った縞模様の布を敷いた。
- 17 没薬とアロエと肉桂で、寝床に香りをつけた。
- 18 さあ、朝まで愛に酔いしれ、
愛を交わして楽しもう。
- 19 夫は家にはいない。
遠い旅に出ている。
- 20 財布を持って出た。
満月の日まで帰って来ない。」
- 21 彼女は巧みな言葉で彼を惑わせ、
唇のへつらいで彼を誘惑した。
- 22 彼はすぐに彼女の後について行った。
ほふり場へ行く雄牛のように、
愚かな者がわなに足を踏み入れるように。
- 23 ついには矢がその肝臓を射抜く。
鳥がわなへ急ぐように、
それが自分の命を奪うとは知らない。

- 24 それゆえ今、わが子らよ、私に聞け。
私の口の言葉に注意を払え。
- 25 あなたの心を彼女の道へ向けてはならない。
彼女の通り道に迷い込んではいならない。
- 26 彼女は多くの者を傷つけて倒した。
彼女に殺された者は、実に大軍をなしている。
- 27 彼女の家はよみ*への道であり、
死の部屋へと下って行く。

8

- 1 知恵が呼びかけているのではないか。
悟りが声を上げているのではないか。
- 2 道沿いの高台、
道の交わる所に立っている。
- 3 門のそば、町の入り口、
戸口で声高く叫ぶ。
- 4 「人々よ、私はあなたがたに呼びかける。
人の子らに向かつて声を上げる。
- 5 浅はかな者たちよ、思慮を身につけよ。
愚かな者たちよ、悟りある心を持て。
- 6 聞け。私は尊いことを語る。
私の唇を開けば、正しいことが出る。
- 7 私の口は真実を語り、
私の唇は悪を忌み嫌う。
- 8 私の口の言葉はすべて義にかなっている。
その中に曲がったことも、よこしまなこともない。
- 9 それらは悟りのある者にはすべて明らかであり、
知識を見いだす者には正しい。
- 10 銀ではなく、私の教訓を受け入れよ。
選り抜きの金よりも、知識を選べ。
- 11 知恵はルビーよりも優れている。

* 7:27 7:27 よみ（シェオル）は死者の場所である。

望むことのできるものは何一つ、知恵と比べられない。

- 12 私、知恵は思慮を住まいとし、
知識と慎重さを見いだす。
- 13 主を恐れることは、悪を憎むことである。
私は高ぶりと高慢、悪の道とよこしまな口を憎む。
- 14 助言と確かな知恵は私のものである。
私には悟りがあり、力がある。
- 15 私によって王たちは治め、
君主たちは公正な法令を定める。
- 16 私によって支配者たちは治める。
高貴な者たちも、地を公正に治めるすべての者も。
- 17 私は、私を愛する者たちを愛する。
私を熱心に捜す者たちは、私を見いだす。
- 18 富と誉れは私と共にあり、
永続する財産と繁栄もある。
- 19 私の実は金よりも、純金よりも優れ、
私のもたらすものは選り抜きの銀よりも優れている。
- 20 私は義の道を歩み、
公正の道のただ中を進む。
- 21 私を愛する者たちに財産を受け継がせ、
彼らの倉を満たす。
- 22 主は、御業の初めに私をご自分のものとしておられた。
昔からの働きに先立って。
- 23 永遠の昔から、初めから、
地が存在する前に、私は立てられた。
- 24 深淵がまだなく、

- 水に満ちた泉もなかったとき、私は生み出された。
- 25 山々が据えられる前、
丘ができる前に、私は生み出された。
- 26 主がまだ地も野も、
世界のちりの初めさえも造っていなかったとき。
- 27 主が天を堅く立てたとき、私はそこにいた。
深淵の表面に円を描いたとき、
- 28 上の雲を堅く定め、
深淵の泉が力を増したとき、
- 29 海に境を定め、
水がその命令を越えないようにし、
地の基を定めたとき、
- 30 そのとき、私は主のそばで職人となっていた。
私は日ごとに喜びとなり、
いつも主の前で喜んでいた。
- 31 主の全地を喜びとし、
人の子らと共にいることを喜んだ。
- 32 それゆえ今、わが子らよ、私に聞け。
私の道を守る者たちは幸いである。
- 33 教訓を聞いて知恵を得よ。
それを拒んではならない。
- 34 私に聞き従い、
日ごとに私の門のそばで見張り、
私の戸口の柱のそばで待つ人は幸いである。
- 35 私を見いだす者は命を見いだし、
主から好意を得る。
- 36 しかし、私に対して罪を犯す者は自分を傷つける。
私を憎む者は皆、死を愛する。」

9

- 1 知恵は自分の家を建て、
七本の柱を切り出した。
- 2 肉を用意し、
ぶどう酒を混ぜ、
食卓も整えた。
- 3 召使いの女たちを遣わし、
町の最も高い所から呼びかける。
- 4 「浅はかな者は誰でも、ここへ立ち寄れ。」
悟りのない者に、知恵はこう言う。
- 5 「来て、私のパンを食べよ。
私が混ぜたぶどう酒を飲め。
- 6 浅はかな道を捨てて生きよ。
悟りの道を歩め。」
- 7 あざける者を正せば、侮辱を受ける。
悪しき者を叱れば、傷を受ける。
- 8 あざける者を叱ってはならない。
彼はあなたを憎むようになる。
知恵のある者を叱れ。そうすれば、彼はあなた
を愛する。
- 9 知恵のある者を教えよ。そうすれば、彼はいつそ
う知恵を増す。
義人を教えよ。そうすれば、彼はさらに学び
を増す。
- 10 主を恐れることは知恵の初めである。
聖なる方を知ることは悟りである。
- 11 私によって、あなたの日々は多くなり、
あなたの命の年は増し加えられる。
- 12 あなたが知恵を得るなら、その知恵はあなた自
身のためになる。
あなたがあざけるなら、その報いはあなただけ
が負う。

- 13 愚かな女は騒がしく、
節度がなく、何も知らない。
14 彼女は自分の家の戸口に座り、
町の高い所に席を設ける。
15 自分の道をまっすぐ進む、
通りすがりの人々に呼びかける。
16 「浅はかな者は誰でも、ここへ立ち寄れ。」
悟りのない者に、彼女はこう言う。
17 「盗んだ水は甘く、
ひそかに食べる物はおいしい。」
18 しかし、その人は死者の霊がそこにいることも、
彼女の客がよみ*の深みにいることも知らない。

10

- 1 ソロモンの箴言。
知恵のある息子は父を喜ばせ、
愚かな息子は母に悲しみをもたらす。
2 悪によって得た宝は何の益にもならないが、
義は死から救い出す。
3 主は義人を飢えさせず、
悪しき者の欲望を退ける。
4 手を怠らせる者は貧しくなり、
勤勉な者の手は富をもたらす。
5 夏の間を集める者は知恵のある息子であり、
刈り入れの時に眠る者は恥をもたらす息子である。
6 義人の頭には祝福があり、
暴力が悪しき者の口を覆う。
7 義人の記憶は祝福されるが、
悪しき者の名は朽ち果てる。
8 心に知恵のある者は命令を受け入れるが、

* 9:18 9:18 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 口数の多い愚かな者は倒れる。
- 9 潔白に歩む者は安心して歩むが、
自分の道を曲げる者は正体を知られる。
- 10 目で合図する者は悲しみを引き起こし、
口数の多い愚かな者は倒れる。
- 11 義人の口は命の泉であるが、
暴力が悪しき者の口を覆う。
- 12 憎しみは争いを引き起こすが、
愛はすべての過ちを覆う。
- 13 悟りのある者の唇には知恵が見いだされるが、
悟りのない者の背にはむちがある。
- 14 知恵のある者は知識を蓄えるが、
愚かな者の口には滅びが迫っている。
- 15 富む者の財産は、その人の堅固な町である。
貧しい者を滅ぼすものは、その貧しさである。
- 16 義人の労働は命に至り、
悪しき者の収益は罪に至る。
- 17 教訓に心を留める者は命の道を歩むが、
叱責を捨てる者は他の人々を迷わせる。
- 18 憎しみを隠す者には偽りの唇があり、
中傷を言い広める者は愚かな者である。
- 19 言葉が多ければ、背きが絶えることはない。
しかし、唇を慎む者は知恵がある。
- 20 義人の舌は選り抜きの銀のようだが、
悪しき者の心にはほとんど価値がない。
- 21 義人の唇は多くの人を養うが、
愚かな者は悟りを欠いて死ぬ。
- 22 主の祝福は人を富ませ、
主はそれに苦しみを加えない。
- 23 悪を行うことは愚かな者にとって遊びであり、
知恵は悟りのある者にとって喜びである。
- 24 悪しき者が恐れるものは、その身に降りかかる
が、

- 義人の願いはかなえられる。
25 つむじ風が過ぎ去れば、悪しき者はいなくなる
が、
義人は永遠に堅く立つ。
26 齒に酢、目に煙がそうであるように、
怠け者も、自分を遣わす者には同じである。
27 主を恐れることは日々を長くするが、
悪しき者の年月は短くされる。
28 義人の望みは喜びとなるが、
悪しき者の希望は滅びる。
29 主の道は正しい者にとって砦であるが、
不法を行う者にとっては滅びである。
30 義人は決して揺り動かされないが、
悪しき者はその地に住み続けることができない。
31 義人の口は知恵を生み出すが、
よこしまな舌は切り取られる。
32 義人の唇は何が喜ばれるかをわきまえるが、
悪しき者の口はよこしまである。

11

- 1 不正なはかりは主に忌み嫌われるが、
正しい重りは主に喜ばれる。
2 高慢が来れば恥も来るが、
へりくだる者には知恵がある。
3 正しい者の誠実さは彼らを導くが、
不実な者のよこしまさは彼らを滅ぼす。
4 御怒りの日には富も何の益にもならないが、
義は死から救い出す。
5 潔白な者の義はその道をまっすぐにするが、
悪しき者は自分の悪によって倒れる。
6 正しい者の義は彼らを救い出すが、
不実な者は悪い欲望によって捕らえられる。
7 悪しき者が死ぬと、その望みは滅び、

- 力にかけた期待も消えうせる。
- 8 義人は苦難から救い出され、
悪しき者が代わってその中に陥る。
- 9 神を恐れない者は口によって隣人を滅ぼすが、
義人は知識によって救い出される。
- 10 義人が栄えると、町は喜び、
悪しき者が滅びると、喜びの聲が上がる。
- 11 正しい者の祝福によって町は高くされるが、
悪しき者の口によって町は覆される。
- 12 隣人を侮る者には知恵がないが、
悟りのある人は黙っている。
- 13 うわさを言い広める者は秘密を漏らすが、
信頼できる心の者は秘密を守る。
- 14 賢明な導きがなければ、民は倒れるが、
助言者が多ければ勝利がある。
- 15 見知らぬ人の保証人となる者は苦しみを受ける
が、
保証人になることを嫌う者は安全である。
- 16 恵み深い女は誉れを得るが、
暴力を振るう者たちは富を得る。
- 17 あわれみ深い人は自分自身を益するが、
残酷な者は自分の肉体を苦しめる。
- 18 悪しき者は偽りの報酬を得るが、
義を蒔く者は確かな報いを受ける。
- 19 真に義である者は命に至り、
悪を追い求める者は死に至る。
- 20 心のよこしまな者たちは主に忌み嫌われるが、
潔白な道を歩む者たちは主に喜ばれる。
- 21 確かに、悪い者は罰を免れないが、
義人の子孫*は救い出される。
- 22 豚の鼻にある金の輪のように、
分別を欠く美しい女も同じ。

* 11:21 11:21 または「種」。

- 23 義人の願いは良いことだけだが、
悪しき者を待ち受けるのは怒りだけである。
- 24 惜しみなく与えて、なお富を増す者がいる。
与えるべきものまで惜しんで、かえって貧しく
なる者がいる。
- 25 惜しみなく施す者は豊かになり、
人を潤す者は自分も潤される。
- 26 穀物を売らずに蓄える者を民は呪うが、
それを売る者の頭には祝福がある。
- 27 熱心に善を求める者は好意を求めるが、
悪を探し求める者には、悪が降りかかる。
- 28 自分の富に信頼する者は倒れるが、
義人は青々とした葉のように栄える。
- 29 自分の家を悩ませる者は風を受け継ぎ、
愚かな者は心に知恵のある者のしもべとなる。
- 30 義人の実は命の木であり、
知恵のある者は人の心を得る。
- 31 見よ、義人でさえ地上で報いを受ける。
まして悪しき者と罪人は、なおさらである。

12

- 1 教訓を愛する者は知識を愛するが、
叱責を憎む者は愚鈍である。
- 2 良い人は主から好意を得るが、
主は悪い企みを持つ者を罪に定める。
- 3 人は悪によって強く立つことはできないが、
義人の根は揺り動かされない。
- 4 立派な妻は夫の冠であるが、
恥をもたらす妻は夫の骨の腐れのような。
- 5 義人の思いは公正だが、
悪しき者の助言は欺きである。
- 6 悪しき者の言葉は、血を流そうと待ち伏せし、
正しい者の口は人々を救い出す。

- 7 悪しき者は覆されて、いなくなるが、
義人の家は堅く立つ。
- 8 人はその知恵に応じて称賛されるが、
心のねじれた者は侮られる。
- 9 軽んじられていても、しもべを持つ者は、
自分を大きく見せても、パンに乏しい者にまさる。
- 10 義人は自分の家畜の命を気遣うが、
悪しき者のあわれみさえ残酷である。
- 11 自分の土地を耕す者はパンに満ち足りるが、
むなしいものを追求める者には悟りがない。
- 12 悪しき者は悪人たちの略奪品を欲しがるが、
義人の根は実を結ぶ。
- 13 悪い者は唇の罪によってわなにかかるが、
義人は苦難から抜け出す。
- 14 人は自分の口の实によって良いもので満たされ、
その手の働きに応じて報いを受ける。
- 15 愚かな者の道は自分の目には正しいが、
知恵のある者は助言に耳を傾ける。
- 16 愚かな者はその日のうちに苛立ちを表すが、
慎重な者は侮辱を見過ごす。
- 17 真実を語る者は正しいあかしをし、
偽りの証人は偽りを語る。
- 18 軽率に語る者の言葉は剣で突き刺すようだが、
知恵のある者の舌は癒やす。
- 19 真実を語る唇は永遠に堅く立つが、
偽りの舌は一瞬しか続かない。
- 20 悪を企む者の心には欺きがあるが、
平和を図る者には喜びがある。
- 21 義人には何の災いも降りかからないが、
悪しき者は災いに満たされる。
- 22 偽りを語る唇は主に忌み嫌われるが、
真実を行う者たちは主に喜ばれる。

- 23 慎重な人は知識を胸に秘めるが、
愚かな者の心は愚かさを言い広める。
24 勤勉な者の手は支配するが、
怠惰な者は強制労働に服する。
25 人の心にある不安は心を沈ませるが、
親切な言葉は心を喜ばせる。
26 義人は友を慎重に選ぶが、
悪しき者の道は彼らを迷わせる。
27 怠け者は自分の獲物を焼かないが、
勤勉な者の財産は尊ばれる。
28 義の道には命があり、
その通り道には死がない。

13

- 1 知恵のある息子は父の教訓に耳を傾けるが、
あざける者は叱責に耳を貸さない。
2 人は自分の唇の実によって良いものを味わうが、
不実な者は暴力を欲する。
3 自分の口を守る者は自分の命を守る。
口を軽々しく開く者は滅びに至る。
4 怠け者は欲しがっても何も得ないが、
勤勉な者の願いは十分に満たされる。
5 義人は偽りを憎むが、
悪しき者は恥と不名誉をもたらす。
6 義は誠実な道を守るが、
悪は罪人を覆す。
7 富んでいるふりをしても、何も持たない者がい
る。
貧しいふりをしても、多くの財産を持つ者がい
る。
8 人の命を贖うものはその富であるが、
貧しい者は脅しを受けない。
9 義人の光は明るく輝くが、
悪しき者のともしびは消される。

- 10 高慢は争いを生むだけだが、
助言を受け入れる者たちには知恵がある。
- 11 不正に得た富は減っていくが、
少しずつ手で集める者は富を増す。
- 12 望みが先延ばしにされると、心は病むが、
願いがかなえられると、それは命の木となる。
- 13 教えを侮る者はその代償を払い、
命令を重んじる者は報いを受ける。
- 14 知恵のある者の教えは命の泉であり、
死のわなから離れさせる。
- 15 深い悟りは好意をもたらすが、
不実な者の道は険しい。
- 16 慎重な人は皆、知識に基づいて行動するが、
愚かな者は愚かさをさらけ出す。
- 17 悪い使者は苦難に陥るが、
信頼できる使節は癒やしをもたらす。
- 18 教訓を拒む者には貧しさと恥が臨むが、
叱責に心を留める者は誉れを受ける。
- 19 願いがかなうことは心に甘いが、
愚かな者は悪から離れることを忌み嫌う。
- 20 知恵のある者たちと歩む者は知恵を得るが、
愚かな者たちの仲間は害を受ける。
- 21 災いは罪人たちを追いかけるが、
幸いは義人たちに報いる。
- 22 良い人は孫たちにまで相続財産を残すが、
罪人の富は義人のために蓄えられる。
- 23 貧しい者の畑には豊かな食物があるが、
不正がそれを押し流す。
- 24 わちを惜しむ者は自分の息子を憎むが、
息子を愛する者は、注意を怠らず訓練する。
- 25 義人は心ゆくまで食べるが、
悪しき者の腹は飢える。

14

- 1 知恵のある女はみな自分の家を建てるが、
愚かな女は自分の手でそれを壊す。
- 2 正直に歩む者は主を恐れるが、
道の曲がった者は主を侮る。
- 3 愚かな者の言葉は自分の背にむちを招くが、
知恵のある者の唇は彼らを守る。
- 4 牛がいなければ飼葉おけはきれいだが、
牛の力によって多くの収穫が得られる。
- 5 真実な証人は偽りを語らないが、
偽りの証人は偽りを吐き出す。
- 6 あざける者は知恵を求めても見いだせないが、
悟りのある者には知識が容易に得られる。
- 7 愚かな者から離れよ。
その唇に知識は見いだせない。
- 8 慎重な者の知恵は、自分の道をよく考えることに
あるが、
愚かな者の愚かさは欺きである。
- 9 愚かな者たちは罪の償いをあざけるが、
正しい者たちの間には好意がある。
- 10 心は自分の苦しみを知っている。
その喜びにも、よそ者はあずかれない。
- 11 悪しき者の家は覆されるが、
正しい者の天幕は栄える。
- 12 人の目には正しく見える道があるが、
その終わりは死に至る。
- 13 笑っているときでさえ、心は悲しんでいることが
あり、
喜びの終わりが悲しみとなることもある。
- 14 不実な者は自分の道の報いを十分に受け、
良い人も自分の行いの報いを受ける。
- 15 浅はかな者は何でも信じるが、
慎重な者は自分の歩みをよく考える。

- 16 知恵のある者は恐れて悪を避けるが、
愚かな者は激しやすく、無謀である。
- 17 すぐに怒る者は愚かなことを行い、
悪にくみをする者は憎まれる。
- 18 浅はかな者は愚かさを受け継ぐが、
慎重な者は知識を冠とする。
- 19 悪い者は良い者の前にひれ伏し、
悪しき者は義人の門の前にひれ伏す。
- 20 貧しい者は自分の隣人にさえ避けられるが、
富む者には多くの友がいる。
- 21 隣人を侮る者は罪を犯すが、
貧しい者をあわれむ者は幸いである。
- 22 悪を企む者たちは迷い出るのではないか。
しかし、善を計画する者たちには慈しみと真
実がある。
- 23 すべての勤勉な働きには利益があるが、
唇で語るだけでは貧しさに至る。
- 24 知恵のある者の冠はその富であるが、
愚かな者は愚かさを冠とする。
- 25 真実な証人は命を救うが、
偽りの証人は人を欺く。
- 26 主を恐れることには堅固な砦があり、
主を恐れる者の子どもたちにも避け所がある。
- 27 主を恐れることは命の泉であり、
人を死のわなから離れさせる。
- 28 民が多いことは王の栄光であり、
民が乏しいことは君主の滅びである。
- 29 怒ることの遅い者には大きな悟りがあるが、
短気な者は愚かさをさらけ出す。
- 30 穏やかな心は体の命であるが、
ねたみは骨を腐らせる。
- 31 貧しい者を虐げる者は、その造り主を侮るが、

乏しい者に親切にする者は、造り主をあがめる。

- 32 悪しき者は災難の中で倒されるが、
義人には死に際しても避け所がある。
- 33 知恵は悟りのある者の心に安らぎ、
愚かな者の心の内にも、その姿を現す。
- 34 義は国を高くするが、
罪はどの民にとっても恥である。
- 35 王の好意は賢明に仕えるしもべに向けられるが、
王の怒りは恥をもたらし者に向けられる。

15

- 1 穏やかな答えは憤りを退けるが、
厳しい言葉は怒りをかき立てる。
- 2 知恵のある者の舌は知識を適切に語るが、
愚かな者の口は愚かさをあふれ出させる。
- 3 主の目は至る所にあり、
悪い者も良い者も見えておられる。
- 4 穏やかな舌は命の木であるが、
よこしまな舌は心を打ち砕く。
- 5 愚かな者は父の教訓を侮るが、
叱責に心を留める者は慎重に行動する。
- 6 義人の家には多くの宝があるが、
悪しき者の収入には悩みが伴う。
- 7 知恵のある者の唇は知識を広めるが、
愚かな者の心に知識はない。
- 8 悪しき者のささげ物は主に忌み嫌われるが、
正しい者の祈りは主に喜ばれる。
- 9 悪しき者の道は主に忌み嫌われるが、
主は義を追い求める者を愛する。
- 10 道を捨てる者には厳しい訓練があり、
叱責を憎む者は死ぬ。

- 11 よみ*とアバドンは主の前にある。
まして人の子らの心は、なおさらではないか。
- 12 あざける者は叱責されることを好まず、
知恵のある者たちのところへ行こうとしない。
- 13 喜びに満ちた心は顔を明るくするが、
心が痛むと気力はくじかれる。
- 14 悟りのある者の心は知識を求めるが、
愚かな者の口は愚かさを食べる。
- 15 苦しむ者の日々はすべてつらいが、
心の明るい者には絶え間ない宴がある。
- 16 わずかな物しかなくても主を恐れるほうが、
多くの宝があつて悩みを抱えるより良い。
- 17 愛のある所で野菜だけを食べるほうが、
憎しみのある所で肥えた子牛を食べるより良い。
- 18 憤る者は争いを引き起こすが、
怒ることの遅い者は争いを静める。
- 19 怠け者の道はいばらの生け垣のようだが、
正しい者の道は大路である。
- 20 知恵のある息子は父を喜ばせるが、
愚かな者は母を侮る。
- 21 愚かさは知恵のない者の喜びだが、
悟りのある人はまっすぐに歩む。
- 22 助言がなければ計画は失敗するが、
助言者が多ければ計画は確かなものとなる。
- 23 人は自分の答えによって喜びを得る。
時にかなった言葉は、なんと良いことか。
- 24 命の道は知恵のある者を上へ導き、
よみ†に下ることから彼を遠ざける。
- 25 主は高慢な者の家を根こそぎにするが、
やもめの境界を確かなものにされる。

* 15:11 15:11 よみ（シェオル）は死者の場所である。 † 15:24
15:24 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 26 悪しき者の思いは主に忌み嫌われるが、
純粋な者の思いは喜ばれる。
- 27 不正な利益をむさぼる者は自分の家を悩ませる
が、
賄賂を憎む者は生きる。
- 28 義人の心は答える前によく考えるが、
悪しき者の口は悪をあふれ出させる。
- 29 主は悪しき者から遠く離れているが、
義人の祈りを聞かれる。
- 30 目の輝きは心を喜ばせ、
良い知らせは骨を健やかにする。
- 31 叱責に耳を傾ける者は命を得て、
知恵のある者たちの間に住む。
- 32 矯正を拒む者は自分自身を侮るが、
叱責に耳を傾ける者は悟りを得る。
- 33 主を恐れることは知恵を教える。
誉れに先立つのはへりくだりである。

16

- 1 心の計画は人に属するが、
舌の答えは主から来る。
- 2 人の道はすべて自分の目には清く見えるが、
主はその動機を量る。
- 3 あなたの行いを主に委ねよ。
そうすれば、あなたの計画は確かなものとなる。
- 4 主はすべてのものを、それぞれの目的のために造られた。
悪しき者さえ、災いの日のために造られた。
- 5 心の高慢な者はみな主に忌み嫌われ、
確かに罰を免れない。
- 6 あわれみと真実によって不義は贖われ、
主を恐れることによって人は悪から離れる。
- 7 人の道が主に喜ばれるとき、

- 主はその人の敵さえも、彼と平和に過ごさせる。
- 8 わずかな物しかなくても義があるほうが、
多くの収入があつて不正を行うより良い。
- 9 人の心は自分の進む道を計画するが、
主がその歩みを導く。
- 10 王の唇には神から授かった裁きがあり、
その口は裁きにおいて誤つてはならない。
- 11 正しい天秤とはかりは主のものであり、
袋の中の重りはすべて主の御業である。
- 12 悪を行うことは王にとって忌むべきことである。
王座は義によって堅く立つ。
- 13 義にかなった唇は王たちに喜ばれ、
彼らは真実を語る者を重んじる。
- 14 王の怒りは死の使者であるが、
知恵のある者はそれをなだめる。
- 15 王の顔が明るければ命があり、
その好意は春の雨をもたらす雲のようだ。
- 16 知恵を得ることは金を得ることにまさり、
悟りを得ることは銀よりも選ぶべきもの。
- 17 正しい者の大路は悪から離れることであり、
自分の道を守る者は自分の命を保つ。
- 18 高慢は滅びに先立ち、
高ぶる心は倒れることに先立つ。
- 19 貧しい者たちと共にへりくだった心を持つほうが、
高慢な者たちと略奪品を分け合うより良い。
- 20 主の言葉に心を留める者は幸いを見いだし、
主に信頼する者は幸いである。
- 21 心に知恵のある者は慎重な者と呼ばれ、
快い語り口は学びを増す。
- 22 悟りは、それを持つ者にとって命の泉であるが、
愚かな者への罰は、その愚かさである。

- 23 知恵のある者の心はその口を教え、
その唇に学びを増し加える。
- 24 快い言葉は蜂の巣の蜜のようで、
心に甘く、骨を健やかにする。
- 25 人の目には正しく見える道があるが、
その終わりは死に至る。
- 26 働く者の食欲がその人を働かせる。
自分の口が彼を駆り立てる。
- 27 ならず者は悪事を企み、
その言葉は焼き尽くす火のようだ。
- 28 よこしまな者は争いを引き起こし、
うわさを言い広める者は親しい友を引き離す。
- 29 暴力を振るう者は隣人を誘惑し、
良くない道へ導く。
- 30 目で合図する者はよこしまなことを企み、
唇を結ぶ者は悪を成し遂げようとしている。
- 31 白髪は栄光の冠であり、
義の道に見いだされる。
- 32 怒ることの遅い者は勇士にまさり、
自分の心を治める者は町を攻め取る者にまさる。
- 33 くじは衣のひだに投げられるが、
その決定はすべて主から来る。

17

- 1 静けさの中で乾いた一切れのパンを食べるほうが、
争いの中で家いっぱいのごちそうを食べるより良い。
- 2 賢明に仕えるしもべは、恥をもたらず息子
子を治め、
兄弟たちと共に相続財産を分け合う。
- 3 銀にはるつぽ、金には炉があるが、
主は心を試す。

- 4 悪を行う者は悪しき唇に耳を傾け、
偽りを語る者は害をもたらず舌に耳を貸す。
- 5 貧しい者をあざける者は、その造り主をそしる。
災難を喜ぶ者は罰を免れない。
- 6 孫たちは老人の冠であり、
子どもたちの栄光はその両親である。
- 7 立派な言葉は愚かな者にふさわしくない。
まして偽りの唇は君主にふさわしくない。
- 8 賄賂は、それを贈る者の目には宝石のようだ。
どこへ向かっても、彼は成功する。
- 9 過ちを覆う者は愛を育むが、
同じことを言い広める者は親友を引き離す。
- 10 悟りのある者への一度の叱責は、
愚かな者への百のむちより深く入る。
- 11 悪い者が求めるのは反逆だけである。
それゆえ、残酷な使者が彼に遣わされる。
- 12 子を奪われた雌熊に会うほうが、
愚かさにつける愚かな者に出会うより良い。
- 13 善に悪をもって報いる者の家から、
悪は離れない。
- 14 争いの始まりは、堤を切って水を放つようなもの。
口論になる前に手を引け。
- 15 悪しき者を義と認める者と、義人を罪に定める者は、
どちらも同じく主に忌み嫌われる。
- 16 愚かな者には悟る心がないのに、
知恵を買う金を手にして何になるのか。
- 17 友はどんな時にも愛し、
兄弟は苦難のために生まれる。
- 18 悟りのない者は手を打って誓約し、
隣人の前で保証人となる。
- 19 背きを愛する者は争いを愛し、

- 門を高くする者は滅びを求める。
20 心のよこしまな者は幸いを見いだせず、
欺きの舌を持つ者は苦難に陥る。
21 愚かな者を生む者には悲しみがあり、
愚かな者の父には喜びがない。
22 喜びに満ちた心は良い薬となるが、
打ち砕かれた心は骨を枯らす。
23 悪しき者はひそかに賄賂を受け取り、
公正の道を曲げる。
24 悟りのある者は知恵を見据えるが、
愚かな者の目は地の果てをさまよう。
25 愚かな息子は父に悲しみをもたらし、
彼を産んだ母に苦しみをもたらす。
26 義人を罰することも良くない。
誠実な役人をむち打つことも良くない。
27 言葉を控える者には知識があり、
冷静な者は悟りのある人である。
28 愚かな者でも黙っていれば知恵があるとみなされ、
唇を閉じていれば悟りがあると思われる。

18

- 1 孤立を求める者は自分の欲望を追い、
すべての確かな判断に逆らう。
2 愚かな者は悟ることを喜ばず、
ただ自分の意見をさらけ出したがる。
3 悪が来ると、侮りも来る。
恥には不名誉が伴う。
4 人の口の言葉は深い水、
知恵の泉は流れる小川。
5 悪しき者をえこひいきすることも、
罪のない者から公正を奪うことも良くない。
6 愚かな者の唇は争いを招き、

- その口はむち打ちを呼び寄せる。
7 愚かな者の口は自分を滅ぼし、
その唇は自分を捕らえるわなとなる。
8 うわさを言い広める者の言葉は、おいしい食べ物のように、
人の腹の奥深くまで入って行く。
9 自分の仕事を怠る者は、
破壊する者の兄弟である。
10 主の名は堅固な塔である。
義人はそこへ走り込み、安全に守られる。
11 富む者の財産は、その人の堅固な町であり、
自分の思いの中では越えられない城壁である。
12 滅びに先立って人の心は高慢になり、
誉れに先立つのはへりくだりである。
13 聞かないうちに答える者には、
愚かさや恥がある。
14 人の気力は病の中でもその人を支えるが、
打ち碎かれた心には誰が耐えられるだろうか。
15 悟りのある者の心は知識を得、
知恵のある者の耳は知識を求める。
16 人の贈り物はその人のために道を開き、
身分の高い者たちの前へ導く。
17 最初に自分の訴えを述べる者は正しく見える。
しかし、相手が来て問いたですまで。
18 くじは争いを収め、
力のある者たちを引き離す。
19 仲たがいの兄弟は、城壁のある町よりも取り戻しにくく、
争いは要塞のかんぬきのようだ。
20 人の腹はその口の実によって満たされ、
その唇の収穫によって満ち足りる。
21 死と命は舌の力にある。
舌を使うことを好む者は、その実を食べる。

- 22 妻を見つける者は良いものを見つけ、
主から好意を得る。
23 貧しい者はあわれみを求めて願うが、
富む者は厳しく答える。
24 多くの仲間を持つ人は滅びることがあるが、
兄弟よりも親しく離れない友がいる。

19

- 1 潔白に歩む貧しい者は、
よこしまなことを語る愚かな者にまさる。
2 知識のない熱心さは良くない。
足を急がせる者は道を誤る。
3 人は自分の愚かさによって道を損ない、
その心は主に向かって怒る。
4 富は多くの友を増し加えるが、
貧しい者は友から引き離される。
5 偽りの証人は罰を免れない。
偽りを吐き出す者は逃れられない。
6 多くの人が支配者の好意を求め、
贈り物をする人には誰もが友となる。
7 貧しい者は親族すべてから避けられる。
まして友たちは、どれほど彼を遠ざけること
か。
彼が言葉をもって追い求めても、彼らはもうい
ない。
8 知恵を得る者は自分自身を愛し、
悟りを守る者は良いものを見いだす。
9 偽りの証人は罰を免れない。
偽りを語る者は滅びる。
10 愚かな者にぜいたくな暮らしはふさわしくない。
まして、しもべが君主たちを支配することはふ
さわしくない。
11 人の思慮は怒ることを遅くする。
過ちを見過ごすことは、その人の誉れである。

- 12 王の憤りは獅子のほえる声のようだが、
その好意は草の上の露のようである。
- 13 愚かな息子は父にとって災難であり、
争い好きな妻は、絶えず滴る雨漏りのようである。
- 14 家と富は父祖から受け継ぐものだが、
慎重な妻は主から与えられる。
- 15 怠惰は人を深い眠りに陥れ、
働かない者は飢える。
- 16 命令を守る者は自分の命を守るが、
自分の道を軽んじる者は死ぬ。
- 17 貧しい者をあわれむ者は主に貸す。
主はその善行に報いる。
- 18 望みがあるうちに息子を訓練せよ。
その死に手を貸してはならない。
- 19 激しく怒る者は罰を受けなければならない。
彼を救っても、また救わねばならない。
- 20 助言を聞き、教訓を受け入れよ。
そうすれば、後には知恵のある者となる。
- 21 人の心には多くの計画があるが、
主の助言こそが実現する。
- 22 慈しみが人を慕わしい者とする。
偽りを語る者より、貧しい者のほうが良い。
- 23 主を恐れることは命に至る。
その人は満ち足りて安らぎ、災いに遭わない。
- 24 怠け者は手を皿の中に入れても、
それを再び口に運ぼうとさえしない。
- 25 あざける者をむち打て。浅はかな者は思慮を学ぶ。
悟りのある者を叱れ。彼は知識を得る。
- 26 父から奪い、母を追い出す者は、
恥と不名誉をもたらす息子である。
- 27 わが子よ、教訓に耳を傾けるのをやめれば、

- 知識の言葉から迷い出る。
28 腐敗した証人は公正をあざけり、
悪しき者の口は不義をのみ込む。
29 あざける者のためには刑罰が、
愚かな者の背にはむちが備えられている。

20

- 1 ぶどう酒はあざける者、強い酒は騒ぎ立てる者。
これらに惑わされる者には知恵がない。
2 王の恐ろしさは獅子のほえる声のようである。
王を怒らせる者は自分の命を失う。
3 争いを避けることは人の誉れだが、
愚かな者は皆、争いに飛び込む。
4 怠け者は寒さのために耕さない。
刈り入れの時に求めても、何もない。
5 人の心にある助言は深い水のようなだが、
悟りのある人はそれをくみ出す。
6 多くの人が自分の慈しみを言い立てるが、
忠実な人を誰が見つけられるだろうか。
7 義人は潔白に歩む。
その後の子どもたちは幸いである。
8 裁きの王座に着く王は、
その目によってすべての悪をふるい分ける。
9 誰がこう言えるだろうか。
「私は自分の心を清くした。私は清く、罪がない」と。
10 異なる重りと異なる升は、
どちらも同じく主に忌み嫌われる。
11 子どもでさえ、その行いによって知られる。
その行いが清いか、正しいかが分かる。
12 聞く耳と見る目は、
そのどちらも主が造られた。
13 眠りを愛すれば、貧しくなる。

- 目を開け。そうすれば、パンに満ち足りる。
- 14 「悪い、悪い」と買い手は言うが、
立ち去ると、それを自慢する。
- 15 金もあり、ルビーも豊かにある。
しかし、知識を語る唇は貴重な宝石である。
- 16 見知らぬ人の保証人となる者からは、そ
の衣を取れ。
よその女のために保証する者から、担
保を取れ。
- 17 欺きによって得た食べ物は人に甘いが、
後にはその口が砂利で満たされる。
- 18 計画は助言によって確かなものとなる。
知恵ある導きによって戦いをせよ。
- 19 うわさを言い広める者は秘密を漏らす。
だから、口の軽い者と交わってはならない。
- 20 父や母を呪う者のともしびは、
真っ暗な闇の中で消される。
- 21 初めから急いで得た相続財産は、
終わりには祝福されない。
- 22 「悪に報いてやろう」と言ってはならない。
主を待ち望め。主があなたを救う。
- 23 異なる重りは主に忌み嫌われ、
不正なはかりは喜ばれない。
- 24 人の歩みは主によって定められる。
それなら、人はどうして自分の道を理解できる
だろうか。
- 25 軽率に「これは聖なるものだ」と言い、
誓願を立てた後で考え直すことは、人にとって
わなである。
- 26 知恵のある王は悪しき者たちをふるい分け、
その上に脱穀車を走らせる。
- 27 人の霊は主のともしびであり、
その人の内側の奥深くまで探る。

- 28 慈しみと真実は王を守り、
その王座は慈しみによって支えられる。
29 若者の栄光はその力であり、
老人の輝きはその白髪である。
30 傷を負わせる打撃は悪を洗い清め、
むちは心の奥深くまで清める。

21

- 1 王の心は主の手の中にある水路のようである。
主は望む所へそれを向ける。
2 人の道はすべて自分の目には正しく見えるが、
主は心を量る。
3 義と公正を行うことは、
ささげ物よりも主に喜ばれる。
4 高慢な目とおごる心、
すなわち悪しき者のともしびは罪である。
5 勤勉な者の計画は必ず利益に至るが、
性急な者は皆、必ず貧しさに陥る。
6 偽りの舌で得た財宝は、
死を求める者の、吹き払われる霧。
7 悪しき者の暴力は彼ら自身をさらって行く。
彼らは公正を行うことを拒む。
8 罪を負う者の道は曲がっているが、
潔白な者の行いはまっすぐである。
9 争い好きな女と一つの家で暮らすより、
屋根の片隅に住むほうが良い。
10 悪しき者は悪を望み、
その目には隣人へのあわれみがない。
11 あざける者が罰せられると、浅はかな者は知
恵を得る。
知恵のある者が教えを受けると、知識を得る。
12 義なる方は悪しき者の家をよく見て、

- 悪しき者たちを滅びに陥れる。
13 貧しい者の叫びに耳を閉ざす者は、
自分が叫んでも聞かれない。
14 ひそかな贈り物は怒りを静め、
衣の内に渡す賄賂は激しい憤りを静める。
15 公正を行うことは義人の喜びであるが、
不法を行う者たちには滅びである。
16 悟りの道から迷い出る人は、
死者の霊の集まりの中にとどまる。
17 快樂を愛する者は貧しくなる。
ぶどう酒と油を愛する者は富むことがない。
18 悪しき者は義人の身代金となり、
不実な者は正しい者の身代わりとなる。
19 争い好きで怒りっぽい女と暮らすより、
荒野の地に住むほうが良い。
20 知恵のある者の住まいには貴い宝と油があるが、
愚かな者はそれを使い果たす。
21 義と慈しみを追い求める者は、
命と義と誉れを見いだす。
22 知恵のある者は勇士たちの町に攻め上り、
彼らが頼みとする砦を打ち倒す。
23 自分の口と舌を守る者は、
自分の身を苦難から守る。
24 高ぶり、傲慢な者――その名は「あざける者」。
彼は高慢の限りを尽くす。
25 怠け者の欲望は彼を殺す。
その手は働くことを拒む。
26 貪欲な者は一日中欲しがるが、
義人は惜しまずに与える。
27 悪しき者のささげ物は忌み嫌われる。
悪い思いをもってささげるなら、なおさらである。
28 偽りの証人は滅びるが、

- よく聞く者の言葉はいつまでも残る。
29 悪しき者は厚かましい顔をするが、
正しい者は自分の道を確かなものにする。
30 主に逆らえる知恵も悟りも、
助言もない。
31 馬は戦いの日のために備えられるが、
勝利は主から来る。

22

- 1 良い名は多くの富よりも望ましく、
好意は銀や金よりも良い。
2 富む者と貧しい者は出会う。
そのすべてを造られたのは主。
3 慎重な者は危険を見て身を隠すが、
浅はかな者は進み続けて、災いを受ける。
4 へりくだりと主を恐れることの報いは、
富と誉れと命である。
5 悪しき者の道には、いばらとわながある。
自分の命を守る者は、それらから遠く離れる。
6 子どもをその進むべき道に従って訓練せよ。
年老いても、その道から離れない。
7 富む者は貧しい者を支配し、
借りる者は貸す者のしもべとなる。
8 悪を蒔く者は災いを刈り取り、
その怒りのむちは碎かれる。
9 寛大な目を持つ者は幸いである。
自分の食物を貧しい者に分け与える。
10 あざける者を追い出せ。そうすれば、争い
は去り、
口論と侮辱もやむ。
11 心の清さを愛し、麗しい言葉を語る者は、
王の友となる。

- 12 主の目は知識を見守るが、
不実な者の言葉を覆す。
- 13 怠け者は言う。「外に獅子がいる！
通りで殺されてしまう！」
- 14 姦淫する女の口は深い穴である。
主の憤りを受ける者は、そこに落ちる。
- 15 愚かさは子どもの心に結びついていて、
訓練のむちがそれを遠く追い払う。
- 16 自分を富ませるために貧しい者を虐げる者も、
富む者に与える者も、
どちらも貧しさに至る。
- 17 耳を傾けて、知恵のある者たちの言葉を聞け。
私の教えに心を向けよ。
- 18 それらを心の内に保ち、
すべてを唇に備えるのは喜ばしい。
- 19 あなたが主に信頼するように、
今日、私はほかならぬあなたに教える。
- 20 私はあなたのために、助言と知識について、
三十のすぐれたことを書いたではないか。
- 21 真実で信頼できる言葉をあなたに教えるため。
あなたを遣わした者たちに確かな答えを返すため。
- 22 貧しい者を、その貧しさにつけ込んで搾取する
な。
乏しい者を法廷で踏みにじってはならない。
- 23 主が彼らの訴えを弁護し、
彼らを略奪する者の命を奪い取る。
- 24 怒りやすい者と友になってはならない。
憤りを抱く者と交わってはならない。
- 25 その人の道を学び、
自分の命をわなにつけないために。

- 26 手を打って誓約する者や、
借金の保証人となる者の一人になってはならない。
- 27 支払う手段がないなら、
なぜ自分の下から寝床まで取り上げられなければならないのか。
- 28 あなたの父祖たちが据えた、
昔からの境界石を移してはならない。
- 29 仕事に熟練した人を見たか。
その人は王たちに仕える。
名もない者たちには仕えない。

23

- 1 支配者と共に食事の席に着くときは、
目の前に置かれたものを注意深く考えよ。
- 2 食欲の強い者なら、
自分の喉に刃物を当てよ。
- 3 そのごちそうを欲しがってはならない。
それは人を欺く食物。
- 4 富もうとして疲れ果ててはならない。
自分の分別で思いとどまれ。
- 5 消えうせるものに、なぜ目を留めるのか。
富は必ず翼を生やし、鷲のように
空へ飛び去る。
- 6 物惜しみする者の食物を食べてはならない。
そのごちそうを欲しがってはならない。
- 7 彼は心の中で勘定ばかりする者。
彼はあなたに「食べよ、飲め」と言うが、
その心はあなたと共にない。
- 8 あなたは食べた一口を吐き出し、
せつかくの快い言葉をむだにする。

- 9 愚かな者の耳に語ってはならない。
彼はあなたの言葉の知恵を侮る。
- 10 昔からの境界石を移してはならない。
父のない子どもたちの畑を侵してはならない。
- 11 彼らを贖う方は力強く、
あなたを相手に彼らの訴えを弁護する。
- 12 教訓に心を向け、
知識の言葉に耳を傾けよ。
- 13 子どもを矯正することを控えてはならない。
むちで打つても、その子は死なない。
- 14 その子をむちで打ち、
その命をよみ^{*}から救え。
- 15 わが子よ、もしあなたの心が知恵を得るなら、
私の心も喜ぶ。
- 16 あなたの唇が正しいことを語るとき、
私の心は喜びに満ちる。
- 17 あなたの心で罪人をねたんではならない。
一日中、主を恐れよ。
- 18 確かに将来があり、
あなたの望みは断ち切られない。
- 19 わが子よ、聞いて知恵を得よ。
あなたの心を正しい道に向けよ。
- 20 ぶどう酒を飲みすぎる者や、
肉をむさぼる者の仲間になってはならない。
- 21 酒に酔う者と大食する者は貧しくなり、
まどろみは人にぼろを着せる。
- 22 あなたに命を与えた父に聞き従え。
母が年老いても侮ってはならない。
- 23 真理を買い、それを売ってはならない。

* 23:14 23:14 よみ（シェオル）は死者の場所である。

- 知恵と教訓と悟りを得よ。
- 24 義人の父には大きな喜びがある。
知恵のある子をもうけた者は、その子を喜ぶ。
- 25 あなたの父と母を喜ばせよ。
あなたを産んだ母を喜ばせよ。
- 26 わが子よ、あなたの心を私に与えよ。
あなたの目を私の道に向けよ。
- 27 遊女は深い穴であり、
道を踏み外した妻は狭い井戸。
- 28 彼女は強盗のように待ち伏せし、
人々の間に不実な者を増やす。
- 29 誰に災いがあるのか。
誰に悲しみがあるのか。
誰に争いがあるのか。
誰に不平があるのか。
誰に理由のない傷があるのか。
誰の目が充血しているのか。
- 30 ぶどう酒を長く飲み続ける者たち、
混ぜ合わせたぶどう酒を求めて行く者たちである。
- 31 ぶどう酒が赤く、
杯の中できらめき、
滑らかに喉を通るとき、それを見てはならない。
- 32 ついには蛇のようにかみつき、
まむしのように毒を注ぐ。
- 33 あなたの目は奇妙なものを見、
あなたの心は取りとめのないことを思い描く。
- 34 あなたは海の真ん中に横たわる者のように、
帆柱の頂に横たわる者ようになる。
- 35 「彼らは私を打ったが、痛くなかった。
私を殴ったが、何も感じなかった。

いつ目が覚めるだろう。目が覚めたら、また同じことをしよう。
もっと酒を求めよう。」

24

- 1 悪い者たちをねたんではない。
彼らと共にいることを望んではない。
- 2 彼らの心は暴力を企み、
その唇は悪事を語る。
- 3 知恵によって家は建てられ、
悟りによって堅く立てられる。
- 4 知識によって、その部屋は
あらゆる貴重で美しい宝で満たされる。
- 5 知恵のある人は大きな力を持ち、
知識のある人は力を増す。
- 6 知恵ある導きを受けて戦いに臨め。
助言者が多ければ勝利がある。
- 7 知恵は愚かな者には高すぎる。
彼は門で口を開くことができない。
- 8 悪を行おうと企む者は、
悪にくみをする者と呼ばれる。
- 9 愚かな企みは罪であり、
あざける者は人々に忌み嫌われる。
- 10 苦難の日に気力を失うなら、
あなたの力は小さい。
- 11 死へと連れ去られる者たちを救い出せ。
殺されようとしてよめく者たちを引き止めよ。
- 12 あなたが「私たちはこのことを知らなかった」と言っても、
心を量る方は、それを見抜かないだろうか。
あなたの命を守る方は、それを知らないだろうか。

その方は一人一人に、その行いに応じて報いないだろうか。

- 13 わが子よ、蜜を食べよ。それは良い。
蜂の巣から滴る蜜は、あなたの口に甘い。
- 14 知恵もあなたの心にとって同じだと知れ。
それを見いだしたなら、報いがあり、
あなたの望みは断ち切られない。
- 15 悪しき者よ、義人の住まいを狙って待ち伏せしてはならない。
その休む所を荒らしてはならない。
- 16 義人は七度倒れても、再び立ち上がるが、
悪しき者たちは災難によって倒される。
- 17 あなたの敵が倒れるとき、喜んではならない。
彼が倒れるとき、心を喜ばせてはならない。
- 18 主がそれを見て不快に思い、
その人から怒りをそらされるかもしれない。
- 19 悪を行う者たちのことでいら立ってはならない。
悪しき者たちをねたんではならない。
- 20 悪い者には将来がなく、
悪しき者のともしびは消される。
- 21 わが子よ、主と王を恐れよ。
反逆する者たちに加わってはならない。
- 22 彼らの災難は突然起こる。
主と王の両者がもたらす滅びを、誰が知るだろうか。

23 これらもまた、知恵のある者たちの言葉である。

- 裁きにおいてえこひいきすることは良くない。
- 24 悪しき者に「あなたは義人だ」と言う者を、
民は呪い、国々は忌み嫌う。
- 25 有罪の者を罪に定める人々には幸いがあり、
豊かな祝福が彼らに臨む。

- 26 正直な答えは、
唇への口づけのようである。
- 27 外で自分の仕事を整え、
畑の準備をせよ。
その後で、自分の家を建てよ。
- 28 理由もなく隣人に不利な証人となつてはならない。
唇で欺いてはならない。
- 29 「彼が私にしたように、私も彼にしよう。
その人の行いに応じて報いてやろう」と言つて
はならない。
- 30 私は怠け者の畑のそばを通り、
悟りのない者のぶどう畑のそばを通つた。
- 31 見よ、そこは一面いばらに覆われ、
地面はイラクサで覆われ、
石垣は崩れていた。
- 32 私はそれを見て心に留めた。
眺めて、教訓を受けた。
- 33 しばらく眠り、しばらくまどろみ、
しばらく手を組んで休んでいると、
- 34 貧しさが強盗のようにやって来て、
欠乏が武装した者のように襲つて来る。

25

- 1 これらもソロモンの箴言であり、ユダの王ヒゼ
キヤに仕えた人々が書き写したものである。
- 2 事を隠すことは神の栄光であり、
事を探り出すことは王たちの栄光である。
- 3 天の高さと地の深さのように、
王たちの心は探りきれない。
- 4 銀からかすを取り除け。
そうすれば、精錬する者が用いる銀が得られ
る。
- 5 王の前から悪しき者を取り除け。

- そうすれば、その王座は義によって堅く立つ。
- 6 王の前で自分を高くしてはならない。
身分の高い者たちの間に自分の場所を求めてはならない。
- 7 「ここへ上がって来なさい」と言われるほうが、
あなたがその目で見えた君主の前で
低い場所に下げられるより良い。
- 8 急いで訴えを法廷に持ち込んでではない。
隣人に辱められたとき、最後にどうするのか。
- 9 隣人との争いは、本人と論じよ。
他人の秘密を漏らしてはならない。
- 10 さもないと、それを聞いた者があなた
を辱め、
あなたの悪評は消えなくなる。
- 11 時にかなって語られる言葉は、
銀の飾り細工にはめ込まれた金のりんごのよう
である。
- 12 聞き従う耳に対する知恵ある者の叱責は、
金の耳輪や純金の飾りのようである。
- 13 忠実な使者は、遣わした者にとって、
刈り入れの時の雪の冷たさのよう。
主人の心を生き返らせる。
- 14 偽って贈り物を誇る者は、
雨を降らせない雲や風のようである。
- 15 忍耐強く説けば支配者も納得し、
柔らかな舌は骨を砕く。
- 16 蜜を見つけたか。
必要なだけ食べよ。
食べすぎて吐くことのないように。
- 17 隣人の家には、めったに足を運ぶな。
彼があなたに飽きて、憎むことのないように。
- 18 隣人に不利な偽りのあかしをする人は、

- こん棒、剣、鋭い矢のようである。
- 19 苦難の時に不実な者を信頼することは、
傷んだ歯や不自由な足のようである。
- 20 寒い日に衣服を脱がせる者や、
重曹に酢を注ぐ者のように、
心の重い者に歌を歌うのも、そのようなものだ。
- 21 あなたの敵が飢えているなら、食物を与えて食べさせよ。
渴いているなら、水を与えて飲ませよ。
- 22 彼の頭に燃える炭火を積むことになり、
主があなたに報いる。
- 23 北風が雨を生むように、
陰口を言う舌は怒った顔をもたらす。
- 24 争い好きな女と一つの家で暮らすより、
屋根の片隅に住むほうが良い。
- 25 遠い国から届く良い知らせは、
渴いた人に冷たい水のようである。
- 26 悪しき者の前に屈する義人は、
濁った泉、汚された井戸のようである。
- 27 蜜を多く食べることは良くない。
自分の誉れを追い求めることにも誉れはない。
- 28 自分の心を治められない人は、
城壁を破られ、囲いのない町のようである。

26

- 1 夏の雪、刈り入れ時の雨のように、
愚かな者に誉れはふさわしくない。
- 2 飛び回る雀、
飛び交うつばめのように、
理由のない呪いは降りかからない。
- 3 馬にはむち、
ろばにはくつわ、
愚かな者の背には杖。

- 4 愚かな者の愚かさに合わせて答えてはならない。
あなただけ彼のようにならぬように。
- 5 愚かな者の愚かさに合わせて答えよ。
彼が自分を知恵ある者と思わぬように。
- 6 愚かな者の手に託して知らせを送る者は、
自分の足を切り落とし、暴力を飲む。
- 7 足の不自由な者の力なく垂れる脚のように、
愚かな者の口にある箴言も同じ。
- 8 石投げひもに石を縛りつける者のように、
愚かな者に誉れを与える者も同じ。
- 9 酔った者の手にいばらが刺さるように、
愚かな者の口にある箴言も同じ。
- 10 すべての人を傷つける射手のように、
愚かな者を雇う者も、
通りすがりの者を雇う者もそうである。
- 11 犬が自分の吐いた物に戻るように、
愚かな者は自分の愚かさを繰り返す。
- 12 自分の目に知恵のある者を見たか。
その人よりも、愚かな者のほうに望みがある。
- 13 怠け者は言う。「道に獅子がいる。
通りを獰猛な獅子が歩き回っている」と。
- 14 戸が蝶番の上で回るように、
怠け者は寝床の上で寝返りを打つ。
- 15 怠け者は手を皿の中に入れたまま、
それを口に戻すことさえ面倒がる。
- 16 怠け者は自分の目には、
思慮深く答える七人よりも、自分のほうが知
恵があると思う。
- 17 通りすがりに、自分と関係のない争い
へ口を出す者は、
犬の耳をつかむ者のようである。
- 18 燃えるたいまつや矢を放ち、死をもたらす狂人の
ように、

- 19 隣人を欺き、「ただの冗談だ」と言う者も同じ。
- 20 薪がなければ火は消え、
陰口を言う者がいなければ争いは静まる。
- 21 熾火には炭、
火には薪。
争い好きな者は争いを燃え立たせる。
- 22 陰口を言う者の言葉は、おいしい食べ物のように、
人の腹の奥深くまで入って行く。
- 23 悪い心を隠す熱情の唇は、
銀のかすを塗った土器のようだ。
- 24 悪意ある者は唇で正体を隠し、
心のうちに悪を抱いている。
- 25 その語り口が魅力的でも、彼を信じてはならない。
その心には七つの忌むべきものがある。
- 26 その悪意は欺きによって隠されても、
その悪は会衆の中で明らかにされる。
- 27 穴を掘る者は、自分がそこに落ちる。
石を転がす者には、その石が戻って来る。
- 28 偽りの舌は、自分が傷つけた者を憎み、
へつらう口は滅びをもたらす。

27

- 1 明日のことを誇ってはならない。
一日が何をもたらすか、あなたには分からない。
- 2 自分の口ではなく、ほかの人に称賛させよ。
自分の唇ではなく、
見知らぬ人に。
- 3 石は重く、
砂は重荷となる。

- しかし、愚かな者の挑発は、その両方よりも重い。
- 4 憤りは残酷で、
怒りは押し流す洪水のようだ。
しかし、ねたみの前に誰が立てるだろうか。
- 5 隠された愛よりも、
あからさまな叱責のほうが良い。
- 6 友が負わせる傷は誠実から出るが、
敵の口づけは多すぎる。
- 7 満腹した者は蜂の巣の蜜さえ嫌うが、
飢えた者には苦い物さえすべて甘い。
- 8 巣を離れてさまよう鳥のように、
自分の住まいを離れてさまよう人もそうである。
- 9 香油と香は心を喜ばせる。
友の心からの助言も甘い。
- 10 自分の友や、父の友を捨てててはならない。
災難の日には兄弟の家へ行ってはならない。
遠くにいる兄弟より、近くにいた隣人のほうが良い。
- 11 わが子よ、知恵を得て、
私の心を喜ばせよ。
そうすれば、私をそしめる者に答えることができる。
- 12 慎重な者は危険を見て身を隠すが、
浅はかな者は進み続けて、災いを受ける。
- 13 見知らぬ人の保証人となる者からは、その衣を取れ。
道を踏み外した女のために保証する者から、担保を取れ。
- 14 朝早く大声で隣人を祝福する者は、
その人には呪いとみなされる。
- 15 雨の日には絶えず滴る雨漏りと、

- 争い好きな妻とは同じである。
- 16 彼女を抑えることは風を抑えるようなもの、
右手で油をつかむようなもの。
- 17 鉄は鉄を研ぎ、
人は友を磨く。
- 18 いちじくの木を世話する者は、その実を食べる。
主人の世話をする者は誉れを受ける。
- 19 水が顔を映すように、
人の心はその人自身を映す。
- 20 よみ*とアバドンは決して満ち足りない。
人の目も決して満ち足りない。
- 21 銀にはるつば、
金には炉がある。
人は受ける称賛によって試される。
- 22 愚かな者を穀粒と共に乳鉢へ入れ、きね
で突き砕いても、
その愚かさは彼から離れない。
- 23 あなたの羊の群れの状態をよく知り、
家畜の群れに心を配れ。
- 24 富は永遠には続かず、
冠も代々にわたって残るものではない。
- 25 干し草が取り去られると、新しい草が現れ、
丘の草が集められる。
- 26 子羊からは衣服が得られ、
やぎは畑を買う代価となる。
- 27 やぎの乳は、あなたの食物にも、
家族の食物にも、
女のしもべたちを養うにも十分である。

* 27:20 27:20 よみ（シェオル）は死者の場所である。

28

- 1 悪しき者は追う者がいなくても逃げるが、
義人は獅子のように大胆である。
- 2 国に反逆が起こると支配者が多くなるが、
悟りと知識のある人によって秩序は保たれる。
- 3 貧しい身で貧しい者を虐げる者は、
作物を何も残さない激しい雨のようである。
- 4 律法を捨てる者たちは悪しき者を称賛するが、
律法を守る者たちは彼らと争う。
- 5 悪い者たちは公正を理解しないが、
主を求める者たちはそれを完全に理解する。
- 6 潔白に歩む貧しい者は、
道が曲がっていて富む者にまさる。
- 7 律法を守る者は知恵のある息子だが、
大食する者たちの仲間は父に恥をもたらす。
- 8 法外な利息によって財産を増やす者は、
貧しい者をあわれむ人のためにそれを蓄える。
- 9 律法を聞くことから耳をそむける者は、
その祈りさえ忌み嫌われる。
- 10 正しい者を悪い道へ迷わせる者は、
自分のわなに落ちる。
しかし、潔白な者たちは良いものを受け継ぐ。
- 11 富む者は自分の目には知恵があるが、
悟りのある貧しい者は彼を見抜く。
- 12 義人たちが勝利を得ると、大きな栄光があるが、
悪しき者たちが立ち上がると、人々
は身を隠す。
- 13 自分の罪を隠す者は栄えないが、
それを告白して捨てる者はあわれみを受ける。
- 14 常に恐れ慎む人は幸いである。
しかし、心をかたくなにする者は災いに陥る。
- 15 ほえる獅子、襲いかかる熊のように、
無力な民を治める悪しき支配者もそうである。

- 16 圧政を行う支配者には悟りがない。
不正な利益を憎む者は長く生きる。
- 17 人の血を流した罪に責めさいなまれる者は、
死ぬまで逃亡者となる。誰も彼を支えない。
- 18 潔白に歩む者は安全に守られるが、
道の曲がった者は突然倒れる。
- 19 自分の土地を耕す者は食物に満ち足りるが、
むなしいものを追求める者は貧しさに満たされる。
- 20 忠実な人は祝福に満ちるが、
急いで富もうとする者は罰を免れない。
- 21 えこひいきすることは良くない。
しかし人は、一切れのパンのためにさえ不正を行う。
- 22 物惜しみする者は富を得ようと急ぐが、
貧しさが自分を待っていることを知らない。
- 23 人を叱る者は、後になって、
舌でへつらう者よりも多くの好意を得る。
- 24 父や母から奪いながら、「これは悪いことではない」と言う者は、
滅ぼす者の仲間である。
- 25 貪欲な者は争いを引き起こすが、
主に信頼する者は豊かにされる。
- 26 自分の心に頼る者は愚かな者だが、
知恵をもって歩む者は安全に守られる。
- 27 貧しい者に与える者は乏しくならないが、
目をそむける者は多くの呪いを受ける。
- 28 悪しき者たちが立ち上がると、人々は身を隠すが、
彼らが滅びると、義人たちは栄える。

29

- 1 何度叱責されても首をかたくなにする者は、
突然打ち砕かれ、癒やされることはない。

- 2 義人たちが栄えると、民は喜ぶが、
悪しき者が支配すると、民はうめく。
- 3 知恵を愛する者は父を喜ばせるが、
遊女たちの仲間は財産を使い果たす。
- 4 王は公正によって国を安定させるが、
賄賂を取る者は国を打ち壊す。
- 5 隣人にへつらう者は、
その足元に網を広げる。
- 6 悪い者は自分の罪によってわなにかかるが、
義人は歌い、喜ぶ。
- 7 義人は貧しい者の公正を心に留めるが、
悪しき者はそのことを知ろうともしない。
- 8 あざける者たちは町を騒ぎ立てるが、
知恵のある者たちは怒りを静める。
- 9 知恵のある者が愚かな者を相手に法廷で争って
も、
愚かな者は怒り狂うか、あざ笑うだけで、平
穩は得られない。
- 10 血に飢えた者たちは潔白な者を憎み、
正しい者の命を狙う。
- 11 愚かな者は怒りをすべて吐き出すが、
知恵のある者はそれを抑えて静める。
- 12 支配者が偽りに耳を傾けるなら、
その役人たちは皆、悪しき者となる。
- 13 貧しい者と虐げる者は出会う。
主が両者の目に光を与える。
- 14 貧しい者を公正に裁く王の王座は、
永遠に堅く立つ。
- 15 矯正のむちは知恵を与えるが、
放任された子どもは母に恥をもたらす。
- 16 悪しき者たちが増えると、罪も増えるが、
義人たちは彼らの滅びを見る。

- 17 あなたの息子を矯正せよ。彼はあなたを安らかにし、
あなたの心を喜ばせる。
- 18 啓示がなければ、民は抑制を失う。
しかし、律法を守る者は幸いである。
- 19 しもべは言葉だけでは矯正されない。
理解しても、応じようとしなない。
- 20 軽率に言葉を語る者を見たか。
その人よりも、愚かな者のほうに望みがある。
- 21 若いころからしもべを甘やかす者は、
最後には、そのしもべが息子のようになる。
- 22 怒りやすい者は争いを引き起こし、
憤る者は多くの罪を犯す。
- 23 人の高慢はその人を低くするが、
へりくだった心を持つ者は誉れを得る。
- 24 泥棒の仲間となる者は、自分を憎む者である。
宣誓させられても、証言しようとしなない。
- 25 人を恐れることはわなとなるが、
主に信頼する者は安全に守られる。
- 26 多くの人が支配者の好意を求めるが、
人の受ける公正な裁きは主から来る。
- 27 不正な者は義人を忌み嫌い、
道を正しく歩む者は悪しき者を忌み嫌う。

30

- 1 ヤケの子アグルの言葉、啓示。
その人はイティエルに、
イティエルとウカルにこう語った。
- 2 「確かに、私は誰よりも無知な者であり、
人の悟りも持っていない。
- 3 私は知恵を学んだことがなく、
聖なる方についての知識も持っていない。
- 4 誰が天に上り、また下って来たのか。

誰が風を両手に集めたのか。
誰が水を衣に包んだのか。
誰が地のすべての果てを定めたのか。
その名は何か。その子の名は何か。あなた
が知っているなら答えよ。

- 5 神の言葉はすべて純粹である。
神は、ご自分に身を寄せる者たちの盾である。
- 6 神の言葉に付け加えてはならない。
さもないと、神に責められ、偽り者とされる。
- 7 二つのことをあなたに願います。
私が死ぬ前に、それを拒まないでください。
- 8 偽りと嘘を私から遠ざけてください。
貧しさも富も私に与えず、
私に必要な食物で養ってください。
- 9 私が満ち足りてあなたを否み、『主と
は誰か』と言うことのないように。
また、貧しくなって盗み、
私の神の名を汚すことのないように。
- 10 しもべのことを、その主人に中傷してはならな
い。
さもないと、彼はあなたを呪い、あなたは罪あ
る者とされる。
- 11 父を呪い、
母を祝福しない世代がある。
- 12 自分の目には清く見えても、
自分の汚れから洗われていない世代がある。
- 13 なんと高ぶった目、
なんと上がったまぶたの世代か。
- 14 その歯が剣のようで、
あごが刃物のような世代がある。

彼らは地から貧しい者を、人々の中から乏しい者を食い尽くす。

- 15 蛭には二人の娘がいて、
『くれ、くれ』と言う。

決して満ち足りないものが三つあり、
『もう十分だ』と言わないものが四つある。

- 16 よみ*、
子を産まない胎、
水に満ち足りることのない地、
そして『もう十分だ』と言わない火である。

- 17 父をあざけり、
母に従うことを侮る目は、
谷のからすにえぐり取られ、
鷺のひなに食われる。

- 18 私にとって驚くべきことが三つあり、
私に理解できないことが四つある。

- 19 空を飛ぶ鷺の道、
岩の上を進む蛇の道、
海のただ中を進む船の道、
そして男と若い女との道。

- 20 姦淫する女の道も同じである。
彼女は食べて口を拭い、
『私は何も悪いことをしていない』と言う。

- 21 三つのことによって地は震え、
四つのことには耐えられない。
22 しもべが王となること、

* 30:16 30:16 よみ（シェオル）は死者の場所である。

愚かな者が食物で満腹になること、
23 愛されなかった女が結婚すること、
女のしもべが女主人の座を受け継ぐこと。

24 地上には小さいが、
この上なく知恵あるものが四つある。
25 蟻は強い民ではないが、
夏の間、食物を備える。
26 岩だぬきは弱い民だが、
岩の中に住まいを造る。
27 いなごには王がいないが、
隊列を組んで進む。
28 トカゲは手で捕まえられるが、
王たちの宮殿にいる。

29 堂々と歩くものが三つあり、
堂々と進むものが四つある。
30 獣の中で最も力強く、
何ものにも退かない獅子、
31 グレーハウンド、
雄やぎ、
そして誰も立ち向かえない王である。

32 もし自分を高くして愚かなことをしたなら、
また、悪を企んだなら、
手を口に当てよ。
33 乳をかき回せばバターができ、
鼻を強くねじれば血が出る。
同じように、怒りをかき立てれば争いが生じる。」

31

1 レムエル王の言葉。彼の母が教えた啓示である。

- 2 「何を言おう、わが子よ。
何を言おう、わが胎の子よ。
何を言おう、わが誓願の子よ。
- 3 あなたの力を女たちに与えてはならない。
王たちを滅ぼす女たちに、あなたの道を委ねてはならない。
- 4 レムエルよ、王にはふさわしくない。
王がぶどう酒を飲むことはふさわしくない。
君主が「強い酒はどこだ」と求めることも。
- 5 彼らが飲んで律法を忘れ、
苦しむ者たちの権利を曲げることがないように。
- 6 滅びようとしている者には強い酒を与え、
心の苦しい者にはぶどう酒を与えよ。
- 7 彼が飲んで貧しさを忘れ、
その苦しみをもはや思い出さないようにせよ。
- 8 口のきけない者のために口を開け。
滅びに定められたすべての者の権利のために。
- 9 口を開き、正しく裁け。
貧しい者と乏しい者の権利を守れ。」
- 10 *優れた妻を誰が見いだせるだろうか。
その価値はルビーよりもはるかに高い。
- 11 夫の心は彼女を信頼し、
利益に欠けることがない。
- 12 彼女は生涯のすべての日に、
夫に良いことをし、悪いことをしない。
- 13 彼女は羊毛と亜麻を求め、
喜んで自分の手を働かせる。
- 14 彼女は商人の船のようで、
遠くから食物を運んで来る。

* 31:10 31:10 箴言31章10節から31節は、それぞれの節がヘブライ語のアルファベット

- 15 まだ夜のうちに起き、
家の者に食物を与え、
女のしもべたちに分け前を与える。
- 16 畑をよく調べて、それを買ひ、
手にした利益で、ぶどう畑を植える。
- 17 腰に力を帯び、
腕を強くする。
- 18 自分の商いに利益があると見極め、
そのともしびは夜も消えない。
- 19 紡ぎ棒に手を伸ばし、
その手で紡錘を握る。
- 20 貧しい者に手を開き、
乏しい者に手を差し伸べる。
- 21 雪が降っても家の者のことを恐れない。
家の者は皆、緋色の衣を着ている。
- 22 自分のためにつづれ織りの敷物を作る。
その衣は上質の亜麻布と紫の布である。
- 23 夫は町の門で尊敬され、
その地の長老たちと共に座る。
- 24 彼女は亜麻布の衣を作って売り、
商人に帯を売る。
- 25 力と威厳を身にまとい、
来たる日を笑って迎える。
- 26 知恵をもって口を開き、
その舌には親切な教えがある。
- 27 家族の暮らしをよく見守り、
怠惰のパンを食べない。
- 28 子どもたちは立ち上がって、彼女を幸いな者と呼ぶ。
夫も彼女を称賛して言う。
- 29 「立派な働きをする女は多いが、
あなたはすべてのにまさっている。」
- 30 魅力は人を欺き、美しさはむなし。

- しかし、主を恐れる女は称賛される。
- 31 その手の実りを彼女に与えよ。
その働きが町の門で彼女をたたえるように。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424